

知床しゃりアクティビティサポートセンターの設置について

トピック

1. 知床しゃりアクティビティサポートセンター設立
 - ・設立年月日 2024年7月31日設立
 - ・構成団体 知床斜里町観光協会、一般社団法人知床しゃり、斜里町
 - ・活動内容 自然アクティビティの総合的な情報収集、提供、リスク分析、安全対策支援等
2. 知床しゃりアクティビティサポートセンターの活動状況
 - ・知床小型観光船協議会をアクティビティサポートセンターの指定団体として認定し、小型旅客船等の安全設備の導入に対して、導入費用の一部を補助
 - ・自然アクティビティリスクの洗い出し業務、情報サイト制作業務
3. 次年度の予定
 - ・把握したリスクへの対処、エリア内リスクの把握（拡大）、ヒヤリハット情報の共有

1. 知床しゃりアクティビティサポートセンターの設立

- (1) 2024年7月31日、斜里町における自然そのものを体験・体感するアクティビティのリスクを可能な限り低減し、マネジメントすることで自然環境の保全と安全確保を図ることを目的に「アクティビティサポートセンター」を設立した。
- (2) 構成団体は「知床斜里町観光協会、一般社団法人知床しゃり、斜里町」の3団体でスタートさせ、各論の部分については関係機関と個別協議して進めていく。
- (3) 活動内容は、知床アクティビティリスク管理体制検討協議会の最終報告を参考に議論を行い、活動をスタートさせる。

【参考】取り組みの全体像／制度全体の流れ

全体像



※ 2024 年度先行実施事業

2. 知床しゃりアクティビティサポートセンターの活動状況

(1) 小型旅客船等の安全設備導入支援業務

- ① 知床小型観光船協議会をアクティビティの運用に係る安全対策方針、ルールを定めた上で明文化しており、情報を広く公表・開示され、その取り組みが客観的に保証されていることからアクティビティサポートセンターの指定団体として認定した。
- ② 国交省の知床遊覧船事故対策検討委員会において早期搭載の促進が必要とされた3つの安全設備（「改良型救命いかだ等」「業務用無線設備」「非常用位置等発信装置」）について、導入費用の一部を補助し、小型旅客船等の安全対策を行う。
- ③ 知床小型観光船協議会に加入する小型観光船の2事業者に対し、「改良型救命いかだ」等の購入費の一部支援を実施した。

(2) 自然アクティビティのリスク洗い出し・情報サイト制作

- ① 外部専門家によるヒアリング項目調査を組み込み、斜里町内における全般的な野外体験リスクを洗い出すことを目的にガイド事業者からのヒアリングを実施中。
- ② 今後、ヒアリングした内容をガイドに共有し、各リスクに対する方針を検討する。
- ③ 知床での体験観光、自然アクティビティの魅力を旅行者（と計画中的の人）に伝えること。体験観光にあたってのリスクマネジメント関連情報を旅行者と共有するため、情報発信の主となるホームページを制作中。
- ④ 今後、一般向けの情報発信（試行）を実施予定。

3. 次年度の予定

- (1) 把握したリスク（現在高まっているリスク）に対して対応方針を検討し、対策可能なものから必要な手立てを講じる。
- (2) より調査対象を広げた上で、継続的にリスクを把握・整理する（効率的な把握方法を検討）。
- (3) 一般利用者向けのリスク発信方法・内容を検討する。
- (4) 指定団体等からヒヤリハット情報の収集を行い事業者間での共有を実施する。